




- このたびは東芝照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝照明器具を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。
- この取扱説明書は同種類の製品と共通となっております。







**■安全上のご注意** 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

### ●工事店様・お客様へ 器具取り付けの際のご注意

**⚠警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。






<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。</li> <li>●この器具は丈夫なところに付けてください。薄いところ、弱いところに付けますと、ねじどめが弱く、落下の原因となります。</li> </ul>  <p>よく読んでね! 取扱説明書</p> <p>取り付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ずアースを取り付けてください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(アースは法により第3種接地工事が必要です。)</li> </ul>  <p>アースを 工事</p> <p>アースを つなごう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。</li> </ul>  <p>改造</p> <p>NO!</p>
---	---	---

**⚠注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。





<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因になります。</li> <li>●電源周波数50ヘルツ(Hz)60ヘルツ(Hz)用の区別がある器具は、必ず電源周波数にあった器具をご使用ください。間違えて使用されるとランプの寿命が短くなったり過熱して火災の原因になります。</li> </ul>  <p>電源電圧</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災、絶縁不良の原因になります。</li> <li>●器具を取り付ける際、壁紙・クロス貼りなどの接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。メッキや塗装などの変色やサビの原因になります。</li> </ul>  <p>湿度</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暖房器具、ガス器具等の真上、付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。(この器具は、5°C~35°Cの温度範囲で使用するように、設計してあります。)</li> </ul>  <p>5°C~35°C の温度範囲!</p>  <p>温度</p>
---	--	--

### ●お客様へ 使用上のご注意

**⚠警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。</li> <li>●ランプに水滴をかけた後、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ランプの破損によるけがや感電、火災等の原因になります。</li> </ul>  <p>電源を切って</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプのご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因になります。</li> </ul>  <p>確認してください</p> <p>40W 60W</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因になります。</li> </ul>  <p>NO!</p> <p>かぶせないで!</p>  <p>可燃物</p>
---	--	--

**⚠注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因になります。</li> </ul>  <p>高温、触れないで!</p>  <p>ランプ高温</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプホルダー使用の器具はランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下の原因になります。</li> </ul>  <p>NO!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチ引きひも付きの器具はスイッチの引きひもを器具や、ランプにからませないでください。また、引きひもを強く引いたり、はじいたりしないでください。ランプ、器具の破損、落下の原因になります。</li> </ul> 
---	---	---

### ■お手入れのしかた 常に明るく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>■カバーはぬるま湯または中性洗剤を浸し布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。</li> <li>■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。</li> </ul> <p>[ご注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■器具をいためますので、ガンソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたらないでください。</li> <li>■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電気部品を、洗剤や薬品等でふかないでください。部品の劣化による感電や火災の原因となります。</li> <li>⚠警告 ●器具・ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因になります。</li> <li>■この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。</li> </ul>
--	--

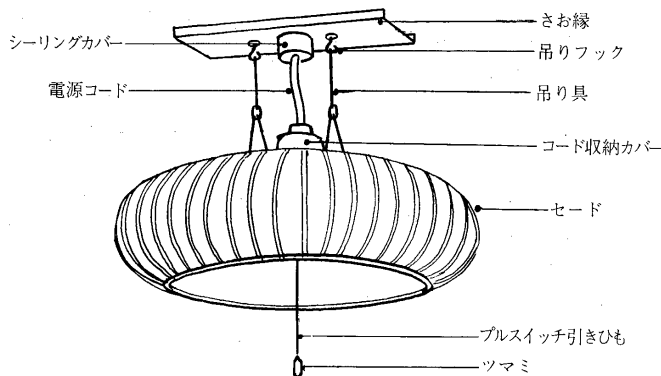
## 東芝蛍光灯ペンダント取扱説明書

このたびは東芝蛍光灯ペンダントをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

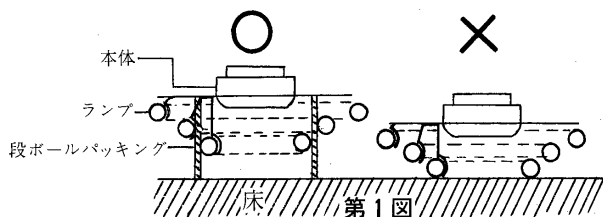
### 各部のなまえ



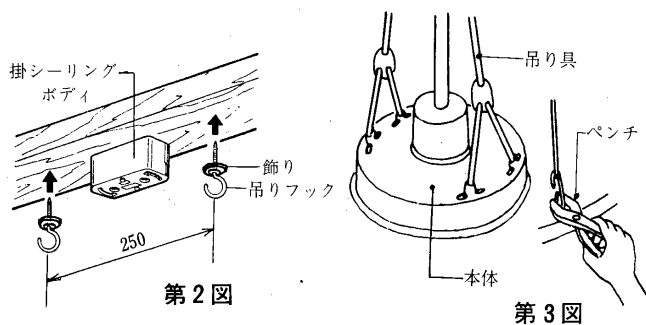
ハイセービング  
**HS** 省電力形器具

### 器具の取り付けかた

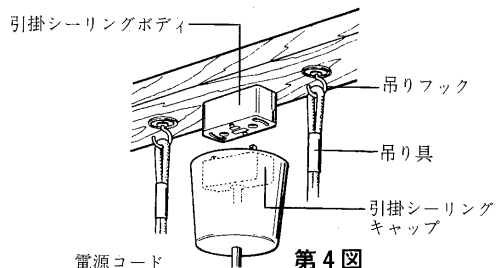
1. 包装箱から取り出した本体は、ランプの破損を防ぐため段ボールパッキングを付けた状態で置いてください。(第1図)



2. 付属の吊りフックに飾りを通し天井のさお縁など丈夫なところに 250mmピッチで取り付けてください。(第2図)
3. 吊り具を本体に取り付け、吊り具の先端はペンチなどで曲げて本体からはずれないようにしてください。(第3図)



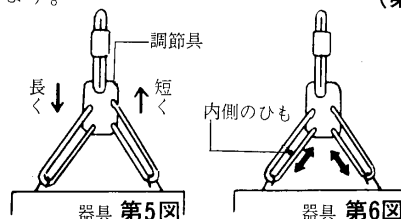
4. 吊り具を持って器具を吊り下げ、吊り具を天井の吊りフックに引掛けます。(第4図)



(注) 電源コードを持って吊り下げたり、吊り具を吊り下げるより先に引掛シーリングキャップを取り付けることは、コードをいためますので絶対おやめください。

5. 器具の取り付け高さとしきを調節してください。  
高さの調節…調節具を上下して行ないます。高さを高くする場合は調節具を上、低くする場合は下に移動します。(第5図)

傾きの調節…調節具の最下部の穴を通して内側のひもを両方持って動かし、左右の長さを同じにします。(第6図)



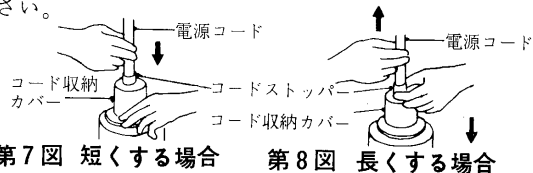
6. 天井に取り付けられている引掛シーリングボディに引掛シーリングキャップを取り付けてください。(第4図) その際、電源コードが少したるむくらいに長さを調節してください。

〔短くする場合〕 (第7図)

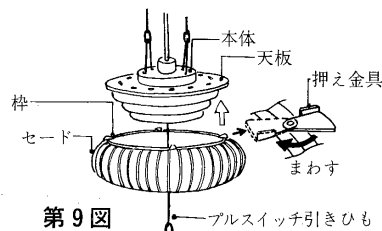
電源コードを、コード収納カバー内に押し込んでください。

〔長くする場合〕 (第8図)

コードストッパーを押し下げながら電源コードを引き出してください。



7. シーリングカバーを引掛シーリングにかぶせます。本体にセードを取り付けます。本体より段ボールパッキングをはずしプルスイッチ引きひもをセードの中央の穴に通します。セードの枠を天板に合せ押え金具を回して固定してください。(第9図)



### お客様へ

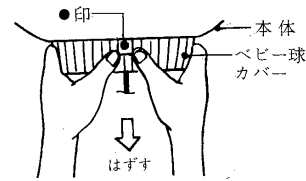
この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています。

### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 点灯管・ベビー電球の交換のしかた

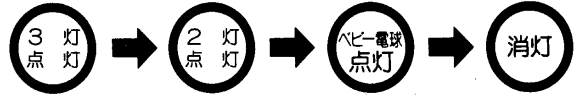
1. セードを本体からはずし、30ワットランプをはずします。ベビー電球カバーの●印部分を両手で押し、下側に引っ張りベビー電球のカバーをはずします。(第10図)
2. 点灯管・ベビー球の交換を行なってください。
3. 交換が終わりましたら、逆の順序でベビー球カバー・ランプ・セードを取り付けてください。



第10図

## 器具の正しい使いかた

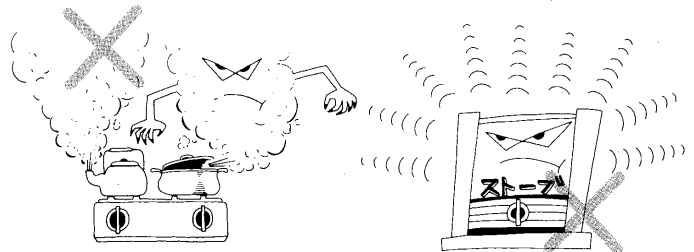
1. ランプ・点灯管・ベビー電球がソケットに確実に取り付けられているか確認してください。ゆるんでいますと点灯いたしません。
2. プルスイッチ引きひも(ツマミ)を引きますと次の順序で切り換えられます。



## 特にご注意を

- 器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をご使用ください。まちがえてご使用になりますとランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのもとなります。
  - ・ご贈答、ご転居のときはご注意ください。
  - ・電源周波数のちがった地域にご転居のときは、一部部品の交換が必要です。お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。
- この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。
- 薄い天井板(1cm以下)や弱い天井などに取り付けますと、ねじ止めが弱く器具が落下するもとなります。
- 紙や布などを器具の上に置いたり、かぶせたりして使用しないでください。器具の温度が高くなり、火災などの事故のもとなります。
- ランプの差し込みは、40ワットは「40」用ソケットに、32ワットは「32」用ソケットに、30ワットは「30」用ソケットにそれぞれ指定どおり差し込んでください。逆に差し込んだり、ちがったワットのランプを使用しますと、ランプ寿命が短くなったり、器具が過熱して事故のもとなります。
- 器具の改造やランプ以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりが大変危険です。

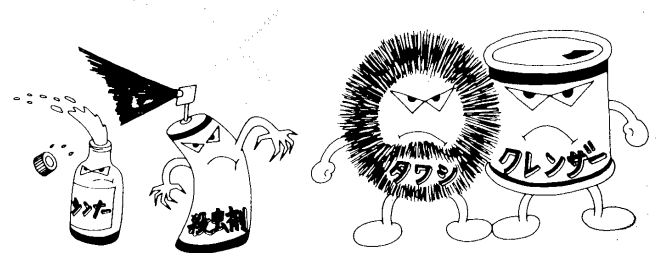
- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。
- 暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとなります。



- ランプホルダーは強くはじくとランプが破損することがあり危険ですから注意してください。
- ランプは端部が黒ずんだり暗くなりましたら早めに交換してください。
- ランプ交換の際には、「東芝蛍光ランプ〈サークライン〉(ワットブライター) 30ワット形、32ワット形、40ワット形」とご指定ください。(注) 東芝蛍光ランプ一般形も交換使用可能です。
- 点灯管交換の際には「東芝点灯管FG-1E(30ワット用) FG-5P(32ワット用) FG-4P(40ワット用)」をご指定ください。

## お手入れのしかた

- 器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。
- カバーが汚れたときは、やわらかい布を、石けん水に浸しよくしぼってからふきとってください。
- ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色のもとなります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因になります。



- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。